

地域農業を支えるＪＡ出資型法人 (株式会社岡山西アグリサポート)

<法人の概要>

所在地：岡山県倉敷市

設 立：平成25年9月

資本金：5,000万円 売上高：未決算

構成員（議決権）：ＪＡ岡山西(99.8%)、役員(0.2%)

役 員：3名（うち農作業従事2名）

経営面積：8.8ha（うち所有1ha、借入5.7ha） 基幹農作業受託面積：3.1ha

作付作物：水稻5.7ha(主食用米3.2ha、非主食用2.5ha)



<営農を開始するまでの状況>

平成16年10月にＪＡ岡山西全体で実施した管内の組合員を対象とした営農意向調査で、ＪＡに水田を預けたい組合員が相当数いることがわかり、将来的には担い手農業者だけでは管内の水田をカバーできないことが懸念されていた。

担い手農業者の補完による、地域農業の維持・発展を目的に平成25年からＪＡ出資法人設立の検討を重ね、平成25年6月の総代会への了承を経て同年9月に設立した。

当面はＪＡ管内のうち東部地域である「くらしき東エリア」で米麦の栽培や作業受託を中心に事業展開することとし、将来的にはＪＡ管内全域を対象として事業を行うこととしている。

くらしき東エリアは、水田が約1,800haあり、担い手農業者のシェアは282ha（15.7%）である。24年8月の組合員への意向調査では担い手等へ預けたい水田が、353ha（19.6%）ある。

25年度から経営を開始したばかりであるが、地域に根ざしたＪＡ出資型法人として、担い手農業者と協調した農地の利用調整を行い、地域の水田農業の振興に寄与していく予定である。

＜特徴的な取組＞

◎「地域と共生する農業生産法人をめざして」

地域の農業者からの強い要望に応える形で法人の設立を決めた。

農地利用に関しては、耕作放棄地の発生未然防止など農地を守る取組を進めるとともに、将来の担い手を育てる機能も発揮し、地域農業の拠点として活動する。また、JAが直接農業経営に取り組む事例は県内では初めてのことから、県内のJA出資型法人のモデルとして農業経営を行う。

◎「JAの農地利用調整活動との連携」

JA岡山西は農地利用集積円滑化事業を円滑に実施するため、農地の利用調整を行う農用地利用調整協議会を平成25年7月に立ち上げた。

法人は担い手農家とともに配分調整に参加し、経営農地の確保に努めている。

法人の経営、JAの利用調整活動も始まったばかりで、農業経営が確立された状況ではない。一方、近い将来、確実に農地の貸し出し希望が急増することが予想されることから、円滑化事業のほか、平成26年度から始まった農地中間管理事業も活用しながら、地域農業を支える拠点として、早急に経営確立を図る。

＜今後の農業経営の展開方向＞

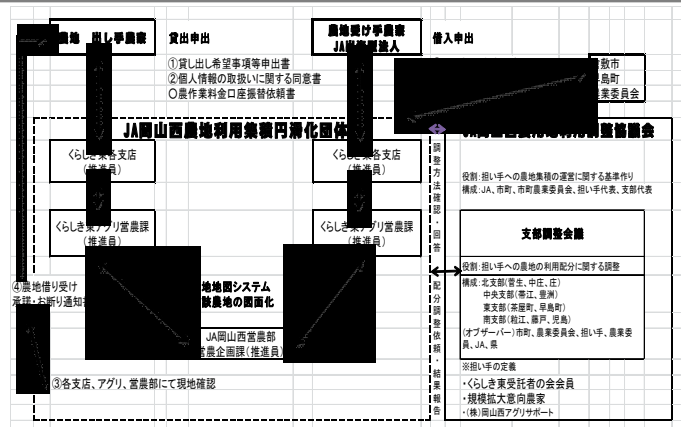
地域に根ざし、担い手農業者と協調した農地の利用調整を行い、地域の水田農業の振興を進めるとともに、新たな担い手育成として新規就農者の受入事業にも積極的に取り組む。

米麦を中心とした農業経営により、まずは平成28年の黒字化を目指し、将来的には農協管内全域を対象とした事業が展開できるよう経営発展させる予定である。

また、経営農地を有効に活用するため、水田裏作に麦、野菜なども栽培する予定である。(H30年目標：利用権設定 41ha 作業受託 8.5ha)。



担い手による農地利用調整会議



農地利用調整の体制